



平成27年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技大会
第68回全国高等学校バスケットボール選手権大会

個人トータル表

男子	平成27年7月30日	10:00 開始
2回戦	ハンナリーズアリーナ	B

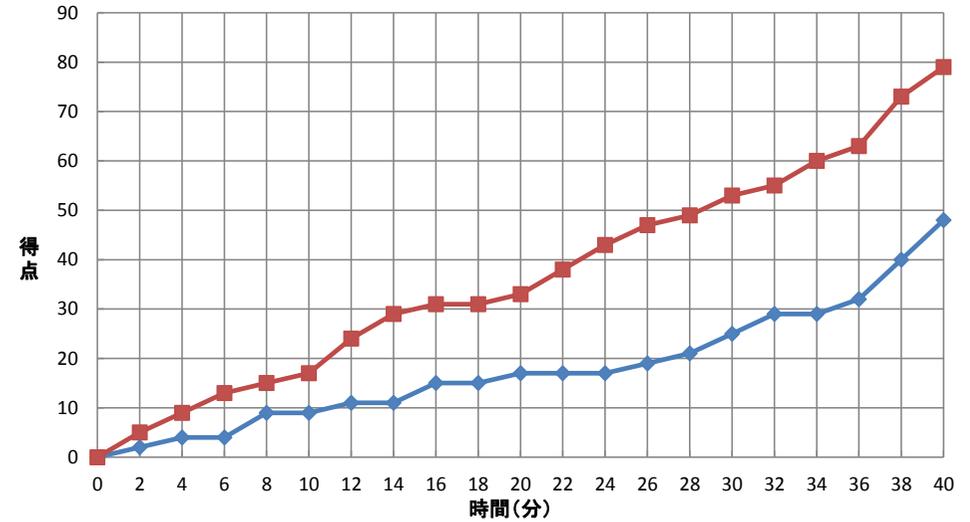
県立広島皆実 48	<table border="1"> <tr><td>9</td><td>1st</td><td>17</td></tr> <tr><td>8</td><td>2nd</td><td>16</td></tr> <tr><td>8</td><td>3rd</td><td>20</td></tr> <tr><td>23</td><td>4th</td><td>26</td></tr> </table>	9	1st	17	8	2nd	16	8	3rd	20	23	4th	26	79	◎ 船橋市立船橋
9	1st	17													
8	2nd	16													
8	3rd	20													
23	4th	26													
(広島県)		(千葉県)													

番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則
4	濱川 優	0	0	0	0	2	* 4	平良 彰吾	10	1	3	1	2
* 5	江尻 駿也	10	0	5	0	0	5	田村 伊織	2	0	1	0	0
6	島田 未月	-	-	-	-	-	* 6	野永 隆介	6	0	3	0	3
7	林 聡洋	0	0	0	0	0	* 7	白井 虎太郎	6	0	3	0	1
* 8	伊森 響一郎	17	1	5	4	1	* 8	越川 和紀	23	5	2	4	4
* 9	國廣 祐司	0	0	0	0	5	9	邱 文昊	2	0	1	0	1
10	松本 雄斗	-	-	-	-	-	10	須田 恵哉	0	0	0	0	2
* 11	倉富 チアゴ	11	0	4	3	1	11	菅原 幸人	4	0	2	0	1
12	新井 泰斗	-	-	-	-	-	12	赤川 建斗	4	0	2	0	0
* 13	小川 俊哉	10	0	4	2	2	13	石塚 周太	10	1	2	3	1
14	原 未来斗	0	0	0	0	3	* 14	赤穂 雷太	6	0	3	0	2
15	大道 拓将	0	0	0	0	0	15	保泉 遼	6	0	2	2	0
コーチ	藤井 貴康					0	コーチ	近藤 義行					0
Aコーチ	中田 翔平						Aコーチ	相川 宙輝					
合計		48	1	18	9	14	合計		79	7	24	10	17

主審: 緒方 崇

副審: 加藤 始

得点経過



CTO	1・2P	3・4P		OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	4:23	13:23	22:22	33:41	:	:	:
TeamB	16:14	19:21	:	:	:	:	:

〔戦評〕

インターハイ2回戦、千葉県代表の市立船橋と広島県代表の広島皆実の試合。
 第1P、両チームともハーフコートマンツーマンで試合開始。序盤広島皆実は#8のバックドア、#13のドライブインで得点するも、なかなかシュートが決まらない。一方、市立船橋は#4を起点にして素早いパス回しからの速攻で点を重ねていく。また#8が相手のエースを抑えるナイスディフェンスで勢いに乗った市立船橋が17対9とリードして第1P終了。
 第2P、市立船橋は相手のドライブインを素早いカバーでびしゃりと止めて、攻守で大活躍する#8の2連続3Pで引き離そうとする。たまたまタイムアウトをとった広島皆実も相手の裏をかくセットオフenseから得点するも、ミスが重なり33対17で第2P終了。
 第3P、市立船橋の堅い守りに対し、苦しい展開が続く広島皆実は#11のポストプレイ、#5のジャンプシュートで必死に食らいつく。しかし、勢いに乗った市立船橋は#8の3P、ジャンプシュートと点を量産していく。焦りの見える広島皆実はターンオーバーが増え53対25と市立船橋大量リードで第3P終了。
 第4P、最後まであきらめない広島皆実はオールコートマンツーマンで必死にチャンスを作り、#11のドライブインや速攻で得点する。しかし、市立船橋のキャプテンがチームを鼓舞し、激しいディフェンスのやりあいになる。第4P後半、広島皆実#8の3P、ジャンプシュートが決まりましたが、市立船橋の交代で出てきた#13のリバウンドシュートや3Pで応戦する。最後まで徹底したチームプレイを続ける市立船橋が広島皆実に隙を見せず79対48で勝利した。

戦評: 川端 真広

記録: 京都すばる高校